別記様式第11(第16条、第20条関係)

年　　月　　日

　夷隅郡市広域市町村圏事務組合

　消　防　長　　　　　　　　　　様

住所

申告者　　職業(職)　　　　　　　　電話

氏名

不動産り災申告書

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 1 | り災年月日 | 年　　月　　日 | り災物件と申告者の関係 | 所有者・占有者・管理者 |
| り災場所 |  |
| 2 | り災前の建物詳細 |
| 建物の用途 | 構造 | 屋根 | 外壁 | 階数 | 延べ面積　(m2) |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 3 | 推定・記録・記憶 | 推定　・　記録　・　記憶　・　不明 |
| 購入年月 | 　　　　年　　　　月頃 |
| 建築又は購入金額 | 　1m2又は坪当たりの金額(円) | 総金額(円) |
| 1m2・坪 |  |
| 4 | 取得後の経過 |
| 修繕・改築 | 年月 | 修繕・改築した箇所 | 面積(m2) | 修繕・改築に要した金額(円) |
| 　　年　　月 | 　 | 　 | 　 |
| 増築 | 年月 | 増築の概要 | 面積(m2) | 増築に要した金額(円) |
| 　　年　　月 | 　 | 　 | 　 |
| 5 | 建物・収容物以外のり災状況 |
| り災物件名 | り災の別 | 数量又は面積 | 経過年数 | 金額　(円) |
| 　 | 焼・爆・消・他 | 　 | 年 | 　 |
| 　 | 焼・爆・消・他 | 　 | 年 | 　 |
| 　 | 焼・爆・消・他 | 　 | 年 | 　 |
| 6 | 居住世帯 | 氏名 | 年齢 | 性別 | 続柄 | 氏名 | 年齢 | 性別 | 続柄 |
| 世帯 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 居住人員 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 人 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 7 | 火災保険の契約 |
| 契約会社名 | 契約年月 | 保険金額　(万円) |
| 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 |

※　記入に際しては、下記事項を必ずお読みください。

　　　　　不動産り災申告書記載要領

(1の欄)

　り災物件と申告者との関係は、あてはまるものを○で囲んでください。

(2の欄)

　1　り災前の建物詳細の欄は、次により記入してください。

　　◎　用途……住宅、物置、倉庫、店舗、工場など

　　◎　構造……木造、防火造、鉄筋コンクリート造など

　　◎　屋根……瓦、波トタン、石綿セメントなど

　　◎　外壁……板張り、波トタン、モルタル、防火サイデングなど

(3の欄)

　1　建築、購入年月、金額の欄は、記録(帳簿や契約書など)によって明らかなものか、推定によるものかなど、あてはまるものを○で囲んでください。

　2　金額の欄は、建物を取得した当時の土地の価格を除いた1m2又は坪当たりの金額と、総金額を円単位で記入してください。

　　なお、1m2・坪あてはまるものを○で囲んでください。

(4の欄)

　1　取得後の経過の欄は、建物を取得してから、規模の大きな建物の修繕、改築又は増築があった場合に記入してください。

　2　修繕、改築、増築の欄は、いつ、どこの部分を、どのくらい(m2)、修繕、改築、増築し、いくら(金額)かかったかを記入してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 年　　月 | 修繕等した箇所 | 面積 | 金額 |
| 例)　改築 | 平成2年8月 | 1階事務所部分 | 30m2 | 3,523,000円 |
| 例)　増築 | 昭和55年6月 | 2階子供部屋 | 20m2 | 1,850,000円 |

(5の欄)

　1　建物・収容物以外のり災状況の欄は、建物・収容物以外の庭木類、塀などがり災した場合に記入してください。

　2　り災別の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。

　　⑴　焼：火災によって焼けたもの及び熱によって炭化、溶融、又は破損したものなど。

　　⑵　爆：爆発により、壊れたものなど。

　　⑶　水：消火の水で濡れ、汚れ、又は消火のために壊れた物など。

　　⑷　他：煙により汚れたもの、運び出すとき、避難のさい壊れたものなど。

(6の欄)

　居住世帯数・居住人員の欄は、建物内すべてに居住する世帯と人員を記入して下さい。

(7の欄)

　1　火災保険の加入が数社ある場合は、すべて記入してください。

　2　保険金額は、契約会社別に万単位で記入してください。

備考

　1　この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。提出をしない場合又は虚偽の報告をした場合は、消防法第44条によって処罰されることがあります。

　2　この申告書は、り災した建物1棟について1枚を使用してください。

　3　この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。

　4　申告者の職業は、具体的に記入してください。

　　例)　小学校教諭、パン屋、花屋、トラック運転手、修理工、漁師のように

　5　あなたに連絡する場合の連絡先の電話がありましたら、その電話番号を記入してください。

　6　火災によるり災証明を発行する場合、この申告書が出ていると早く発行することができます。

　7　この申告書でわからないことがありましたら、下記までご連絡下さい。

夷隅郡市広域市町村圏事務組合

消防本部　　予防課　　予防係

電話　0470(80)0132